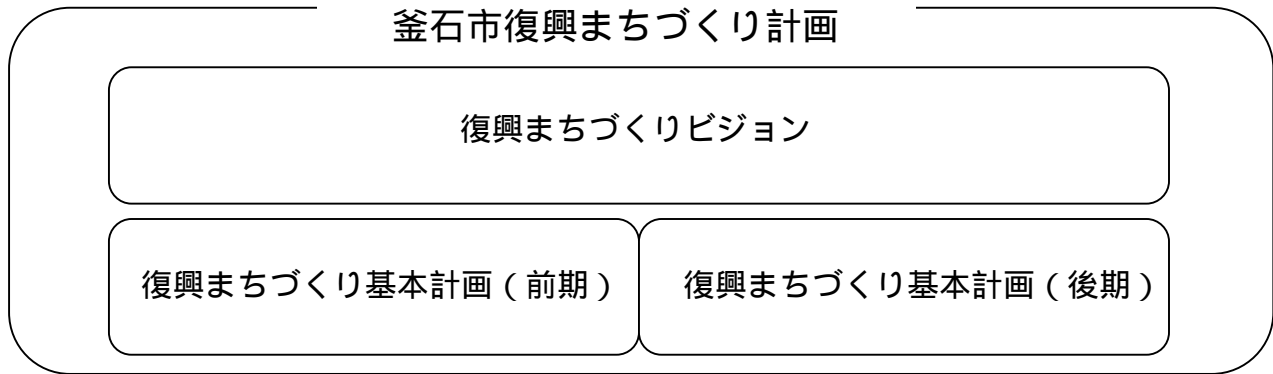


4. 釜石市復興まちづくり計画の構成要素

釜石市復興まちづくり計画の構成要素



復興まちづくりビジョン

計画期間 10 年

- 復興まちづくりの基本理念
「撓まず屈せず」
- 復興まちづくりの基本方針
災害に強い都市構造への抜本的転換
この地で生き続けるための生活基盤の早期復興
逆境をバネにした地域経済の再建
子供たちが未来に希望を持てるまちづくり
- 地域別復興再生に向けた基本的な考え方
被災地域（鶴住居地域、釜石地域、平田地域、唐丹地域）
- 被災地支援地域の活性化に向けた取組み
被災支援地域（中妻地域、小佐野地域、甲子地域、栗橋地域）
- 復興再生における目指すべき新たな方向性
 - 人・もの・情報の交流拠点の創造
(まちの骨格づくり)
 - 防災復興モデル都市の建設（安全なまちづくり）
 - 絆を大切にすまちの実現
(市民生活の安心づくり)
 - ものづくりが息づくまちの継承
(産業の活力づくり)
 - 自然や歴史をいかした学びの里づくり
(ふるさとへの意識づくり)
- 構想の推進
市民参加と協働による新たなまちづくり
明日の希望が広がる地域の再生
縦横の連携と連帯に支えられた地域づくり

復興まちづくり基本計画(前・後期)

計画期間各 5 年

- 序論
計画策定の趣旨
計画策定の視点
計画の期間
計画の対象地域
計画の体系
- 「復興まちづくりの基本方針」実現のための構成内容
 - (1) 災害に強い都市構造への抜本的転換
(災害に強い交通ネットワークの形成、津波防災モデル都市の建設、津波を想定したまちづくり、産業インフラの耐震化、生活インフラの復旧)
 - (2) この地で生活できる為の生活基盤の早期復興
(被災地域の再生、中心市街地の再生、住宅地の整備、生活の安定化、コミュニティ機能の整備、医療福祉の充実)
 - (3) 逆境をバネにした地域経済の再建
(ものづくり産業の再生、水産業及び関連産業の再生、地域特性を活かした農林業の振興、新産業の創出、雇用環境の充実、交流観光の推進)
 - (4) 子どもたちが未来に希望を持てるまちづくり
(学校教育の充実、教育環境の再生、スポーツによる活力づくり、市民の学習文化活動の奨励)